

特集：県版レッドリスト改訂中！

県版レッドリスト改訂の概要

堀田昌伸・尾関雅章

■レッドリスト改訂の流れと体制

コラム「生き物アンテナプロジェクト」でも触れていますが、2012年度に策定された『生物多様ながの県戦略』においても、「自然と共生する信州」の実現を目指すため、レッドリスト改訂が行動計画に位置づけられています。

前回のレッドデータブック作成からすでに10年が経ちました。個体数が著しく減少した種、生息・生育環境が著しく悪化した種、逆に新産地の発見や絶滅したと思われた種の発見がありました。前回のブック作成時にはあまり大きな比重を占めなかったニホンジカによる植生被害や地球温暖化、草原管理停止など新たな問題が、

ある種の生息・生育に大きく関与するようになりました。この間、環境省では何度かレッドリストの改訂をおこなっています。そのリストとの整合性も課題としてあります。そのため、現状にあったレッドリストに改訂する必要にもせまられていました。

今回のレッドリスト改訂は、植物が平成24～25年度、動物が25～26年度、全体で3年間という短い時間で行われます。改訂委員会及び、植物、脊椎、無脊椎動物の専門部会に環境保全研究所の研究者も委員として加わり、ほかの先生方や各部会の協力者の方と連携をとりながら進めています。



写真1 2012年5月17日に開催された長野県版レッドリスト改訂委員会の様子

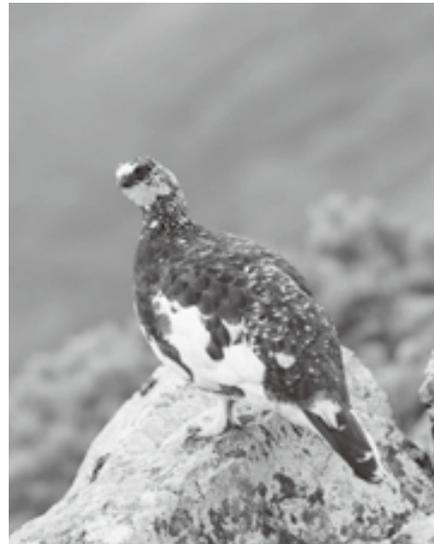


写真2 地球温暖化の影響を大きく受けることが予測される高山帯のシンボル、ライチョウ

表1 長野県版レッドリスト改訂委員会及び各専門部会の委員（敬称略）

区分	改訂委員会委員（各専門部会員兼務）			専門部会委員		
	氏名	所属	専門分野	氏名	所属	専門分野
植 物	大窪 久美子	信州大・農	植物生態	井田 秀行	信州大・教	植物生態
	佐藤 利幸	信州大・理	植物生態	島野 光司	信州大・理	植物生態
	土田 勝義	信州大・名誉教授	植物生態	千葉 悟志	大町山岳博物館	植物生態
	中山 冽	長野県植物研究会	植物分類	蛭間 啓	飯田市美術博物館	植物生態
	横内 文人	長野県植物研究会	植物分類	尾関 雅章	県環境保全研	植物生態
	大塚 孝一	県環境保全研	植物分類			
脊 椎	下山 良平	小学校教諭	両生類	市川 哲生	哺乳類学会・陸水学会	哺乳類
	中村 浩志	信州大・教・名誉教授	鳥類	植松 晃岳	野生生物資料情報室	鳥類
	山本 聡	県水産試験場	魚類	橋本 肇	NPO 東洋蝙蝠研究所	哺乳類
	吉田 利男	信州大・名誉教授	両生・は虫類	堀田 昌伸	県環境保全研	鳥類
	岸元 良輔	県環境保全研	哺乳類	北野 聡	県環境保全研	魚類
無 脊 椎	東城 幸治	信州大・理	水生昆虫類	飯島 國昭	日本貝類学会	貝類
	中村 寛志	信州大・農	チョウ・カメムシ目	四方 圭一郎	飯田市美術博物館	チョウ目（蛾）
	藤山 静雄	信州大・理	コウチュウ目	田下 昌志	日本鱗翅学会	チョウ目（蝶）
	別府 桂	信州大・教	ハエ目	平沢 伴明	日本甲虫学会	コウチュウ目
	須賀 丈	県環境保全研	ハチ目	福本 匡志	日本トンボ学会	トンボ目